

中学生と一緒に作品作り

手芸部活動報告 7月27日(木)～7月28日

手芸部は、夏季休業中7月24日(月)～28日(金)の5日間終日活動を行いました。そのうち27日(木)、28日(金)の両日は、午後1時から中学生3名がそれぞれ作りたい作品の材料を持参して来校し、一緒に活動しました。

7月27日・28日 3名の坂下中学生とともに作品作り

一般社団法人日本縫製機械工業会主催の「ソーイングコンクール」の案内を坂下中学校へ紹介し、「本校手芸部と一緒に作品作りをしませんか」と呼びかけたところ、3名の希望がありました。本校手芸部の活動時間のうち中学校の部活動のスケジュールを考慮し、27日(木)28日(金)の午後一緒に活動しました。

3名の参加者は現在中学校1年生で、2年前の小学校5年生の時に、本校のファッションコースが坂下高校ファッション室で行った「初めてのミシン講座」を受講しています。3名ともそのときのことをよく覚えていてくれました。



*製作したい作品のイメージについて話を聞かせてもらいました。



*パターンを切る線の確認



*ロックミシンかけのお手伝い



*ジーンズのリメイク



*室内はとても暑くなりましたが、集中して頑張りました。

【中学生の感想】



ジーンズのリメイクでバックを作ったKさん

- ジーンズのリメイクのバックは思ったよりうまく可愛くできたので良かったです。持ち手を付けるときに生地が硬くて、ガタガタして縫いにくかったり、ポケット布があって、そこを縫うときうまくできなかつたところが残念でした。坂下高校の先生のアイディアで、内側に使った布でリボンを作ったら、可愛くできたので嬉しかったです。いい体験になりました。



市販の型紙を使って、幼児用ワンピースを作ったIさん

- ワンピースは作ったことがなくてわからないこともあったけれど、教えてもらって作ることができました。2つのポケットは、ぐし縫いした後アイロンで押さえ、底を丸くする方法を教えてもらって、難しい所もあったけれど、気をつけてミシンで縫うことができました。すそとそでにレースをつけて、可愛くなったのでよかったです。

オリジナルのウォールポケットを作ったHさん

- 家のミシンは調子が悪かったので、坂下高校でやれたのでよかったです。布を切る前に、ウォールポケットに入れる物（テニスボール、本、A4クリアファイル、歯ブラシなど）を持って来たので、それに合わせて出来上がりの大きさを決めました。ミシンの使い方が分かったし、使ったことがない道具（ロックミシン、方眼定規）を使って作れたのでよかったです。きれいにまっすぐ縫えました。素敵なウォールポケットができてよかったです。



ぜひ来年も実施できたらよいと思える企画でした